

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和8年4月28日（火）

### 2 確認箇所

- ・地下貯水槽（N o. 1～7）（図1）
- ・J8タンクエリア（図1）
- ・J9タンクエリア（図1）
- ・H4タンクエリア（図1）

### 3 確認項目

構内の状況確認

### 4 確認結果の概要

主に汚染水対策に係る構内のタンクエリア等の状況確認を行った。

#### 【地下貯水槽】

地下貯水槽は、汚染水対策の一環としてRO濃縮塩水<sup>※1</sup>の貯留を目的に、平成24年から25年にかけてN o. 1～7の7槽が設置されていた。しかし、貯留していたRO濃縮塩水の漏えい事象が発生したため、RO濃縮塩水の受入を停止するとともに、残留水の回収作業を実施した。回収作業は平成30年に完了しており、現在は撤去されたN o. 5を除き、残置されている状況にある。

今回、地下貯水槽の状況を確認した。（前回確認：令和8年3月17日（地下貯水槽N o. 6及びN o. 7））

- ・各地下貯水槽の地上部及び観測孔を確認したが、特に異常は認められなかった。（写真1）

※1 RO濃縮塩水：建屋内滞留水の淡水化处理において発生した塩分を取り除いた水（淡水）と濃縮された塩水のうち、濃縮された塩水を加熱蒸発させ、さらに濃縮したもの。

#### 【J8/J9タンクエリア】

J8タンクエリア及びJ9タンクエリアでは、それぞれ処理途上水及びALPS処理水を保管していた。当該エリアにおいては、3号機の燃料デブリ取り出し関連施設の建設等が予定されていることから、エリア内に設置しているタンクの解体作業が行われている。J9タンクエリアのタンク（12基）の解体作業は令和7年9月に完了し、現在、J8タンクエリアのタンク（9基）の解体作業が令和8年1月から行われている。

今回、当該タンクエリアにおけるタンク解体の進捗状況を確認した。（前回確認：令和8年4月7日（J8タンクエリア）、令和7年11月25日（J

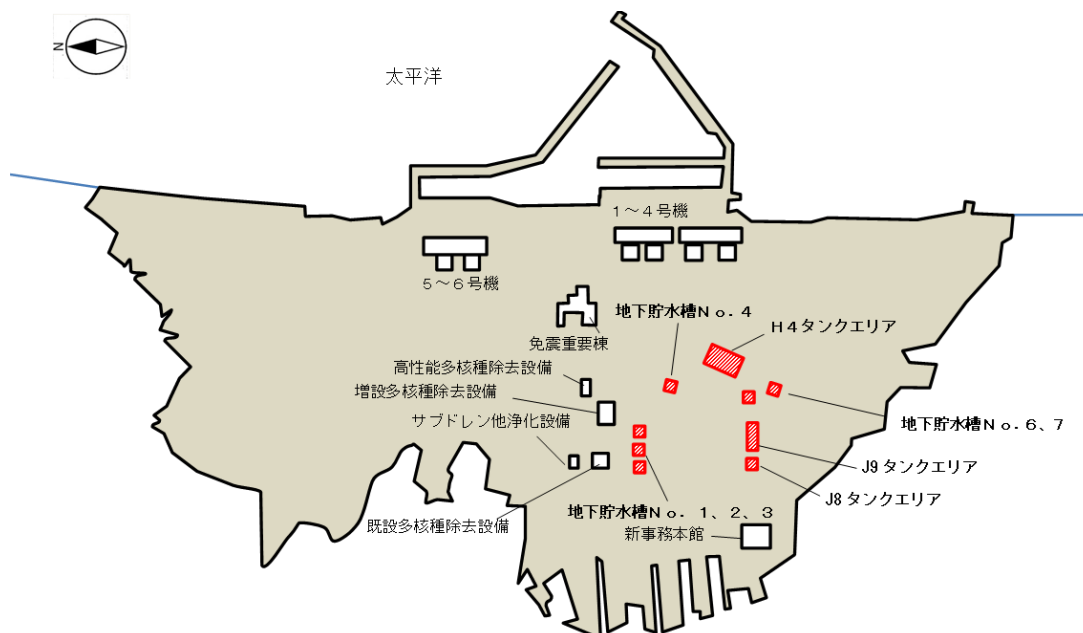
9タンクエリア)

- ・ J 8タンクエリアのタンク 9基のうち5基は解体済であった。残るタンク 4基のうち1基はタンク上部が取り除かれていた。これまでのタンク解体では側板を縦に切断していたが、他エリアにおけるタンク解体に向けた知見を得るため、現場確認時は試験的に横に切断する作業が行われていた。(写真2)
- ・ 解体作業が完了した J 9タンクエリアには横置きタンク (ブルータンク) の解体片が置かれていた。(写真3)

#### 【H4タンクエリア】

H4タンクエリアでは、ALPS処理水が保管されている。今回、H4タンクやその周辺の状況を確認した。(前回確認：[令和2年10月15日](#))

- ・ H4タンク及びその周辺の移送配管等について、確認した範囲において、漏えい等の異常は確認されなかった。



(図1)福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1) 地下貯水槽No. 3の地上部の外観



(写真1-2) 地下貯水槽No. 6の地上部の外観



(写真2) J8タンクエリアにおける  
タンク解体状況



(写真3) J9タンクエリア(タンク解体後の敷地)における横置きタンク解体片の保管状況

## 5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常値は確認されなかった。